

ロバート・ジェームズ『医学総合辞典』 フランス語版

こじま りゅうじ
小嶋 竜寿
(文学部非常勤講師)

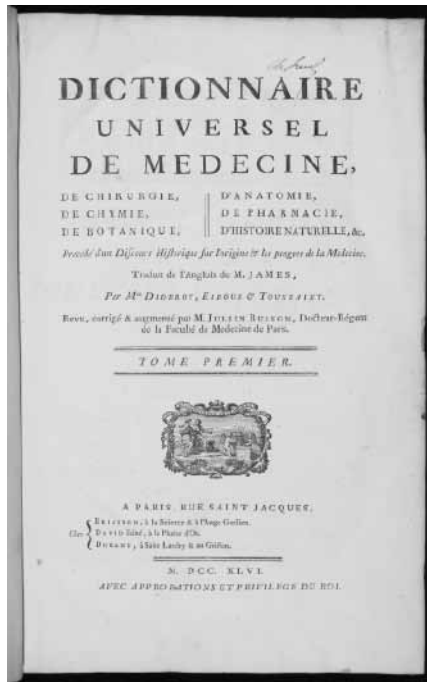


図 1

活版印刷術の発明のおかげで大量の書物が出回った結果、遠隔地間での知識の共有が容易になり、活発に議論が交わされるようになった初期近世ヨーロッパでは、国境や階級、ギルドといった軛をのがれ、汎欧規模の「学問の共和国」が形成された。はじめは新奇性だけで驚異の対象となり、雑然と蒐集されていた情報も、しだいに整理・秩序化の機運が高まってくる。そして時代の要請に応じ、記憶術の影響を受けた各種辞典が17世紀後半から盛んに編纂されるようになり、ディドロ、ダランベール、ジョークールの『百科全書』(1751-1772)でそのピークを迎えた。

また時期を同じくして、知識人の中で情報を共有するための共通語として用いられてきたラテン語の地位が低下し、使用言語が各国語(近代語)へと推移するにつれ、多国間の文化の伝播と共有を可能にする、言語の壁を越えるためのあらたな方法意識が

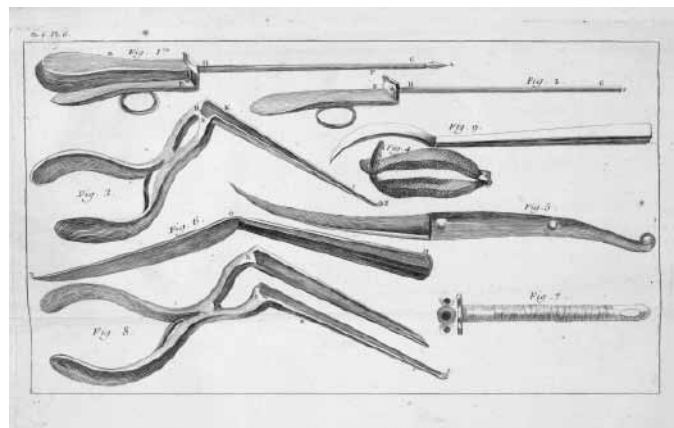


図 2

先鋭化する。視覚資料の本格的な導入や普遍言語が模索される一方、ラテン語から俗語へのみならず、各国語間での翻訳が積極的に推進されるようになり、異文化の受容手段としてのほか、自国文化の独自性を醸成するための触媒として機能した。先に触れた『百科全書』は、イギリスのイーフレーム・チェンバーズの『サイクロペディア』の翻訳企画から始まっており、すなわち知識の編集とその共有方法の実践が合流する、時代の産物として位置づけられるといえよう。そして『百科全書』には、翻訳をつうじてさまざまな先行辞典や印刷物から多くの知見が流れ込んだ。

その一例がジェームズの『医学総合辞典』のフランス語版である。この辞典には、のちに『百科全書』企画に身を投じる書籍商と翻訳者が携わっていた。1743年から45年にかけて、英国の医師ロバート・ジェームズがフォリオ判3巻本の『医学総合辞典』をロンド

ンで刊行すると、商機を嗅ぎとったパリの書籍商ブリ
アッソン、ダヴィド、デュランはすぐさまフランス語
への翻訳を企てる。原著の完成から間もない1745年
にフォリオ判第1巻を刊行開始、1748年に最終第6
巻を完成させた。辞典編纂にあたり、医師ジュリア
ン・ピュッソンが監修、修正、増補を担当し、ディ
ドロやフランソワ＝ヴァンサン・トゥサン、マルク＝
アントワヌ・エドゥが翻訳者として参加した(図1)。

『医学総合辞典』の原著では、ルネサンス以降の
人文主義的な観点において重視された古典古代のヒ
ポクラテスやガレノスから、同時代のハーヴェイや
ブールハーフェまでの幅広い知見が結集され、経験
主義と教条主義、機械論と生氣論といった相容れな
い医学観が並立して論じられている。このような伝
統的観念と最新の科学的知識が綯い交ぜとなった医
学の転換期における状況が、医学、解剖学、生理学、
化学、植物学をはじめとする博物学的知識とともに
フランスに受容されたのだ。

とはいえ、イギリスでまとめられた知識がそのま
ま受け継がれたわけではない。フランス語として読
みやすくするために配慮された文体上の修正のほか、
複数の項目がカトリック寄りに書き換えられている
という。そしてなによりも、辞典で取り上げられる
教義に対する態度の違いは無視できない。たとえば、
フランス語版では、原著と異なり、ヒポクラテスの
教義や錬金術師に対する評価は低く、逆に評価の芳

しくなかった近代的な機械論的医学観については態
度の軟化が指摘されている。また図版に関しても、
イギリス版の踏襲にとどまるのではなく、一部で構
成が変更され、わずかとはいえフランス語版独自の
図版もあらたに作成された(図2～4)。

翻訳にともなう辞典の解説・記述の変化は、人文
主義以降に堆積された博学的知識の再編成の一環と
言い換えることもできよう。だが、仏訳版の調査は端
緒についたばかりといえ、より具体的で包括的な検討
については今後に期待するほかない。2017年秋、フ
ランスでENCCRE(電子批評校訂版『百科全書』)と
いうサイトが公開された(<http://enccre.academie-sciences.fr>)。『医学総合辞典』をふくむ辞典や文献
が『百科全書』にいかにかに伝達され後世に影響を与
えたのか、『百科全書』の主要項目の典拠を明らかに
しようとする試みがいまはじまろうとしている。

参考文献

- ・ Roger, Jacques. "Dictionnaire universel de médecine traduit de l'anglais de Robert James." *Œuvres complètes*, Denis Diderot, édition critique, Paris, Hermann, 1975, p.153-163.
- ・ 逸見龍生. 『百科全書』前史におけるジェームズ『医学総合事典』. 人文科学研究, 2011, vol.129, 新潟大学, p.43-69.

請求記号 [142X@111@6@1~6]

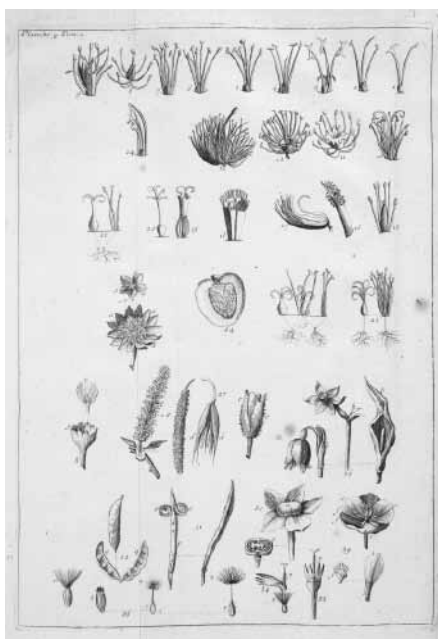


図3

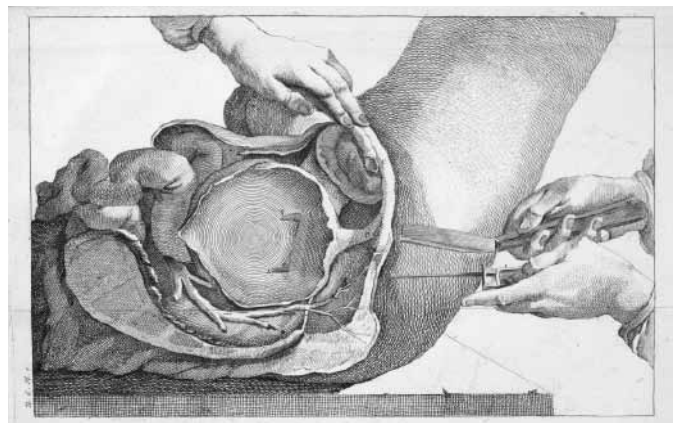


図4